

はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
平成30年12月20日発行
NO. 303

心温まる「ふれあい行事」を終えて



前日準備から天候に恵まれ、今年も睦合中学校恒例のふれあい行事が12月8日（土）に開催されました。人と関わり、助け合いながら生活していくことが大切だといろいろな場面で感じている今、睦合中学校のふれあい行事はまさに、人と人との交流ができ、世代を越えていろいろな方から学ぶことのできる素晴らしい行事です。

具体的には、地域の方を講師としてお招きし、生徒は自分の希望するコースで様々な体験します。今年度は体を動かすコースから伝統文化を体験するコースまで、全23コースを開設しました。昼食の時間帯に、練習の成果を中庭で発表してくれるコースもあり、見学者からは温かい拍手が送られていました。

お昼には、PTAや地域の方々が前日から時間をかけて準備してくださったとん汁やフランクフルト、PTAのOBの方々が組織されたふれあい隊の皆さんによるベビークーステラ、揚げ餅を美味しくいただくことができました。また今年初めて開設されたアウトドアクッキングでは、地域の方々の指導の元で、楽しくバームクーヘンを作ることができました。この心温まる触れ合いを、いつか地域の一員として繋いでくれることを願うばかりです。

お忙しい中にもかかわらず、協力していただいた講師の方々、PTAの皆さん、地域の方々には、心温まる触れ合いを通して豊かな心に満ちた楽しい時間を過ごすことができたことを心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

ふれあい行事担当 猪俣 典子



豊かな心に満ちた思い出の1ページ



全校人権集会を終えて

今年是世界人権宣言70周年です。「みんなで築こう人権の世紀」「考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心」という法務省のテーマを受け、12月12日に「分かち合おう 睦中GOODSTORY」というテーマで全校人権集会が行われました。友人への感謝の気持ちや感動したことなど仲間を思いやる作文を全校生徒が書き、その中から最も感動を与えた作文を学年代表として紹介しました。1年生代表は、2組の村上桃さんが友人である木村純菜さんのすばらしさと感謝の気持ちを書いた「大切な存在」。2年生代表は、1組の小林明聖さんが友人の福本さん、島野さん、戸上さんのやさしさや思いやりに感謝する気持ちを書いた「僕を助けてくれた人たち」。3年生代表は、5組の磯本みゆさんがむつみの祭での合唱コンクールに取り組むクラスの仲間のすばらしさに感動した「最高の思い出」。これら3作品を生徒会本部役員が朗読をしました。また、厚木市人権作文コンクールで優良賞に輝いた3年原山美希さんの作文が朗読されました。全校生徒も全職員も温かい気持ちになることができました。集会の最後には、全生徒で全校合唱「翼をひろげて」を歌いました。これからも全校生徒で温かく思いやりある学校作りをしていきたいと思ひます。

人権教育担当 小板橋 美徳



～編集後記～

2018年も間もなく終わろうとしています。今年の漢字は、豪雪・豪雨・地震や台風が多かったことから「災」でした。来年は明るいイメージの漢字が当てはまる1年になることを願ひます。年度の終わりは3月ですが、学校だより「はばたき」のこれまでのご愛読ありがとうございます。

教務 水野 裕隆